

総合型地域スポーツクラブの運営に対する助成について

【担当省庁】文部科学省、スポーツ庁

市町村における取組

(現状・課題)

三郷町では、平成26年度から総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、スポーツ振興くじの助成金と町の補助金を主たる財源として運営してきた。また平成31年度（令和元年度）からは法人化し、より自立した運営を目指しているが、令和2年度からはスポーツ振興くじの助成金も減額され、令和5年度以降は町の補助金と自主財源で運営を行っている。また、新型コロナウイルス感染症の影響が未だ尾を引き、会員数も令和元年度の343名をピークに減少の一途をたどっていることから、財源の確保が極めて困難であり、事業の継続そのものが危ぶまれる状況となっている中、「部活動の地域移行」の一部業務委託も視野に入れた運営方法について、種々検討中である。

国にお願いすること

会員の利用料が主たる財源となることから、利用料をさほど安価に設定できないことも会員の確保が困難となる一因にもなっている一方で、講師謝礼は固定的に発生する。コロナ禍の影響が未だ続く中、採算の取れない状況下では講師の確保も会員の確保も困難となることから、当然経営手腕も問われるところではあるが、総合型地域スポーツクラブの活動自体に限界があり、会員の減少についても不可避な部分大きいものと思われる。現在の悪循環から脱却するためにも、事業内容の充実及び会員数の増加を図るとともに、部活動の地域移行も視野に入れ、地域に根差したスポーツクラブの健全運営のため、総合型地域スポーツクラブに対する補助金の創設をお願いしたい。

会員数の推移

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会員数	270人	268人	254人

令和6年度会員数: 令和7年2月現在